

第2回さぬき市大串半島活性化検討委員会 会議要旨(要約)

- 1 日 時 平成24年4月18日(水) 13:30~16:00
- 2 場 所 さぬき市役所2階203会議室
- 3 出席者[委員] 犬飼委員長 村尾委員 竹内委員 間嶋委員 福家委員
岡委員 松木委員
[事務局] 木村課長 浅川副主幹 松下係長 松下主事
[傍聴] 4名
- 4 議 題
・現状の課題と今後の施設の在り方について

- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
委員	<p>【事務局挨拶】</p> <p>【第1回欠席だったため、挨拶】</p>
事務局	<p>それでは議題に移らせて頂きます。</p> <p>本日委員長が所用ため遅れますので、副委員長に委員長代理をお願いいたします。</p>
委員	<p>それでは、私が委員長代理をしたいと思います。</p> <p>前回、皆様方から闊達な意見があり、皆様が考える活性化案をまとめています。</p> <p>今日のテーマが現状の課題と今後の施設の在り方についてと、その他となっております。</p> <p>そろそろ方向性を決めていかないと後2回しか会議が無いので、その辺りは、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは現状の課題について各委員及び事務局が、どの程度共有しているのかから入っていきたいと思います。</p> <p>どなたからでも、結構なので課題について、解決できる問題点を発言して頂きたいと思います。</p>
委員	<p>前回のレポートですが、何をどうしたら、という話があれば、もっと具体的に書けたと思うのですが、なかなか市が抱えている問題が推し量れなかったのが現状です。私の知り合い等にも話を聞いてみたのですが、イメージ的に儲かってない・人が来ていないのだろうと。今回、私が提出したレポートには基本コンセプトを抜いて、個別の事象の中で、まだやれるものはあるのではないかと、という書き方で終えています。</p> <p>大串半島をどうするかという問題があると思うのですが、まだまだ、やれることはあるのではないかと。それと成功した事例を挙げていくのも良いかと思えます。</p> <p>今日、朝から大串に行ってきたのですが、ぶどう畑がないのに、なんで、ここにワイナリーがあるのだ、という感じもしました。</p> <p>ただ、他のワイナリーで、まだまだ頑張っているところはあるし、他の成功しているワインと、さぬきワインの違いはなにか、もっと研究してもいいのではないかと思えます。</p> <p>今日は、おいしいと評判のぶどうジュースを買ってきましたので、ぜ</p>

委員	<p>ひ飲んで頂きたいと思います。こういった、良い物を探す努力をしていく中で大串の良いものってなんだろうと考える事も必要だと思います。</p> <p>その中で宿泊施設はどうあるべきか、土産物屋はこうあるべきだというのが、もっともっと見つかるような気がします。</p> <p>竹内委員の地元の地域需要を再発見しようということですね。きっとこれをうまく生かせば、可能性があるのではないかと。ただ、全体の絵ができていないと。これを描くことが必要だと。もっともだと思います。</p> <p>さぬき市のコンセプト「人いきいき・親自然・真健康・新創造」に見合ったものを大串半島の活性化に活かしていけばいいのではないかと思います。先程、竹内委員がおっしゃった地域資源も、もっともっと有効に活用していけばいいと思います。</p> <p>私は、農家等から出荷するものを集めていって、ワイナリー辺りで販売していく。これは日常的に集客効果を高めるのが目的です。それから若い人がビジネスを興す支援として、グリーンヒルのネット環境を整備して提供していき、ものづくりの拠点としたらどうかということをご提案しています。</p>
委員	<p>岡委員いかがですか。</p> <p>女性団体の中で38人程度の方に市民の意見としてのアンケートをとりました。その中で、大串半島に何が足りないかということで、一番多かったことが交通を不便ということと飲食するのに魅力を感じないという意見がありました。女性は少々遠くても楽しければ行くのですが、行くこうという気が全く起きない、食べる物の魅力が全くないということと、スタッフのサービスが良くない。また、施設の老朽化が進んでいて、利用しようという気が起きないという意見がありました。</p>
委員	<p>また、これから大串半島に何を求めますかという質問に対して、家族連れが1日過ごせる場所というのが断トツで多かったので、この辺りに絞って、今後の大串半島の姿を見つけていってはどうかと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。現状の課題について端的に話して頂きました。</p> <p>間嶋委員はどうでしょうか。</p> <p>岡委員の意見と似ていますが、大串半島に施設はあるけど、何回も利用する人は少ない。また、県外からの観光客もワイナリーだけ見学して他に何も来ないから、すぐ帰るという状況です。</p> <p>まず、大串半島にお金を投入するのか、しないのか。私は、地域の人あるいはさぬき市の人から愛されて、何回も利用するような公園にならないとダメだと思います。</p> <p>私が提案しているのが、まず子供たちが来るような施設が必要でない</p>

	<p>かと思ひます。ワイナリーからグリーンヒルまで遊歩道を整備し、アスレチック等、楽しみながら歩いて行けるようにすると、道沿いには土地を提供して、婦人会とかスポ少とか色んな人に頼んで花を植えてもらう。そういう風にして人が大串半島に来るようにした上で、温泉等どうするか検討していかなければいけないと思ひます。また、地域の人に参加出来ることが大切だと思ひます。</p> <p>大串半島で採算を取ろうとすれば、第三セクターとかではなく、市外、県外の大手企業に大串半島全体を考えたものでなければ無理と思ひます。その中で、地元として要件を付けたら意に添わなくても大串半島の活性化にはなるのではないかと、ただ、今のままの中途半端な投資をするよりは自然を活かして地道にやっていくのがいいのではないかとと思ひます。</p> <p>ただ、地域の人・さぬき市の人が大串半島に目がいてないで、まずは大串半島を知ってもらふ所から始めないといけないと思ひます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。キーワードは小さな子供からということでしたが、そのとおりだと思ひます。そもそも大串半島に22億のお金をつぎ込んできて全体の繋がりのない施設を作ってきたのは、大串半島で誰にも文句を言われたいからいいだろうということで作ったのだと思うんですが、出来上がってみると、こうなると。今となつては維持費だけでも市の財政を相当圧迫する要因となっています。お金をつぎ込めば、どうにかなる問題でもないで、赤字にならないような方向性を皆さんの知恵とさぬき市民の皆さんの支援によってやれるような仕組みを考えていけたらいいなと思ひます。</p>
委員	<p>福家委員いかがですか。</p> <p>問題は、はっきりしていますよね。赤字脱却ですよ。唯でさえ、財政が逼迫している中で、どうしていくかということと、あとは他の委員さんもレポートにもあったような事と思ひます。</p> <p>ただ、課題抽出する上で、根本的な資料がないというのが、もっとも重要な問題と思ひます。今、委員さん達が話したことは情報共有出来たと思ひますし、こうだったらいいなという事はレベル的な散らかりはあるけど、皆同じことを考えていると思ひます。でも、できないのですよ。なんで出来ないかということなのです。今までは、専門家がいなかったと思うのです。観光に関してもサービス・施設管理にしてもそうですが、全くプロがない。これは問題点ですが、こういうことを明らかにした上で、データを揃えて分析して、次に課題抽出して共有して、この事をどのように行うのかというフレームワークが出来上がると思うのです。ただ、この委員会は4回でなんとかせよとの事なのですけど、全く</p>

<p>事務局 委員</p>	<p>データがないままだと、恐らく評論家のような話で終わってしまう気がします。だけど、もうまったなしでしょ、大串だけでなく他の所もそうなのですが、具体的に実現不可能な事を、あったら良いなみたいな話でいつまでしていてもしょうがないですし、これを具体的にどうやったらいいのかと考える場合には、やっぱり、基本的な調査が必要だと思いますし、それからあとは他の事例、類似施設との比較検討だとかを行うワーキンググループが出来ないだろうかと思いました。このままいくと、ちゃんとした落とし所へいかないのではという危惧があります。他の委員さんも話していましたが、地域住民のためにやるのか、そのための施設として今後も考えていくのか、誰のための施設なのか、対象者によって大きく変わってきますし、私も地元の意見が聞きたかったので、近隣の200世帯にインタビューしました。その中で一番多かったのが温泉施設の復活を強く願っていて、最初に出来た頃は地元の人はかなり行っていたみたいですね。あとは焼き肉とか、そういう感じで地元の施設として活用していただきたいです。こういった方向で行くなら、地元住民の参加型にしないといけないと思います。ただ、赤字を本格的に解消するという方向で考えた場合に、地元の住民を対象として考えたので採算ベースにのるのかという事です。だから、そうすると外から観光客を呼ばないといけない。こうなると、また調査の目的なりやり方が変わってくると思うのです。この辺りが自分の中でモヤモヤしていて、今回、提出したのはとりあえず、自分達がH21.12.23で地元調査した一部です。施設も立ち入りして写真も撮っていますし、同じように分析しています。それから、市にも要望して、あるものは決算なり分析結果を出してくださいといったんですが、各施設無いということで、できなかった。今からでも、各施設の今の状況を分析して資料がないと具体的なものにはならないと思います。</p> <p>事務局に質問ですが、この委員会の期間を延ばす事は出来ないのですか。それから、職員も含めて専門家を入れたワーキンググループを作る事が出来ないでしょうか。もし委員会を延ばす事が出来ないなら、委員会の4回目の落とし所、どこまでやるのかをはっきりさせないとダメだと思うのですが。検討をお願いします。この場で答えていただけるなら、お願いします。</p> <p>まず、スケジュールについては、市としては早めに次のアクションを起こしたいので、8月目途でお願いしたいと思います。回数なら4回を5回にするくらいのスケジュールでお願いします。</p> <p>じゃあ、委員会と委員会の間にワーキンググループを作って、必要なデータを揃えていくっていうのは可能ですか。その中で課題を探ってい</p>
-------------------	---

事務局	<p>く感じ・・・。</p> <p>レベル的な問題で、修繕費等資料等揃えるといっても、どこまで掘り下げて考えていくかなんですが・・・。</p>
委員長	<p>今、その資料が出てこないからやるのですが。だから、出てこないという事は、これからどうするかって話をするにしても、シュミレーションができないですよね。そうすると、ここでやれるのは、あったらいいなっていう話しか出来ないんです。時間が限られてると言いますが、限られた時間で急ぐ事が重要なのか、それとも、このことを本当に解決することが重要なのかって事も考えないといけないと思うのですが。</p> <p>で、なんとかなる資源も悪い事ばかりじゃなくて景観もそうですが、類似施設の成功例も、竹内委員が数多く持っているの、見込みのない所でもないと思うので、尚更もったいないと思うんですが。だからワーキンググループのようなものを週に1回だとか、そうじゃなくてもチームを作れば出来る事もあると思うのですが。もう少し具体的に公募するにしたら、受ける側は今の財政状況もわからない、これから先の投資効果もシュミレーションできないですよね。だからワーキンググループが出来て欲しいという希望です。</p>
事務局	<p>市の職員で各課から職員を集めてプロジェクトチームが作れるかという、難しいのではないかと思います。それと、プロを入れて欲しいという事ですが、技術職員はいますが、各課に配属されているので、難しいと思います。また、他課の職員を集めて、この委員会の計画策定の為の資料の収集をさせる事は現実的に難しいと思います。ただ、商工観光課の課員で出来る事は精一杯しますので、よろしく願いしたらと思います。</p>
委員	<p>例えば、各委員の合意も必要ですが、委員を中心として職員も入ってもらうとか、そういう形なら可能ですか。</p>
事務局	<p>各委員が委員会以外で、商工観光課の課員と相談をしたり、資料を依頼するのは可能です。</p>
委員	<p>委員会を延ばせないのであれば、この委員会でもここまでは必ずきちっとやるという、それが実現に向けての一步になるのだという形にしたいというか、していただきたいと思います。</p>
委員	<p>結局、大串半島で利益を上げようと思うと、ワイナリー・グリーンヒル・テアトロン・シーサイドコリドールですかね。</p> <p>今、グリーンヒルは休止していますよね。それを再開するとしたら、またお金が必要ですよ。</p>
委員	<p>だから、再開するとしたらどこまで再開するとか・・・。</p>
委員	<p>いや、まず再開するのかどうするのか・・・。</p>

委員	再開するかどうかというのは、どこまで予算をかけられるのか、民間の資本を入れて公募するのかがどうか、そういった事に繋がっていくんです。それを計る元々のデータが無いという事です。
委員	私の資料の中に、グリーンヒルの中を見て、チェックしたものがあるのですが、それで試算は出来ますよね。だから、それくらいの事は出来ますよね。て事です。だから改修費用とか、判断材料になると思います。
委員	投資効果とかリスクとか、そこまで期待していないと思うのだが。
委員	公募する時に要件として、どう考えるかという事です。
委員	この委員会では公募の方がいいとか、お金をかけない方がいいとか、そういった事を提案するのでは。
委員	公募にしても PFI や指定管理もあるし、条件的に厳しいかもしれませんが譲渡とか売却もありますし、色んなやり方がありますよね。だからそれについても、今の状態では何もわかりません。これ全てを考えるのかという事なので、施設も一括で考えるのか、個々で考えていくのかも検討しなければいけないと思います。そういった議論のできる基礎データが欲しいです。今のままでは公募しても誰も来ないのではと思います。
委員	委員が言っている事は、まったくその通りだと思います。ただ、現実にはさぬき市という「お役所」が経営してきたが為に、採算度外視の経営をダラダラやってきたんです。その原因を調べたところで、やっぱり思った通りでしたねという結果になると思うんです。だから、そういうのを抜きにして、大串半島にある現有の施設を民間企業に見てもらって、新規でやるとしたら、どういう事業計画を立てて、どういった収支計画でやっていくのか企業にお任せする。この委員会でやる事は、これだけは守ってください。とか、さぬき市民を度外視した計画は止めてください。とか少なくとも、さぬき市民も参加出来るような施設にしてください。という事を条件にして、広く県内外から募ると、いうスキームを作ればいいのかと思います。
委員	今、村尾副委員長から方針がでましたけど、でも、それが市の方針になるのかどうか。
委員	だから、それを議論しなければいけないと思います。
委員	今のような話からスタートした時に本当に全面的に民間に委ねる事がいいのかどうか、という事なんですけど。
委員	そこで、民間に任すことで、委員会で想像つかないような案がでてくるかもしれません。
委員	そのためには制限に関しては、出していないとダメですよ。売却はダメだとか、ここは国立公園だから、こういう事はダメとか。

委員	委員	そういう制限は明確にしておく必要があるでしょうね。
委員	委員	あと、民間に全面的に任せるなら、第三者評価委員会を設けて、チェック機能を作ると、いう風な事も同じ轍は踏まないという事で大切じゃないでしょうか。ただ、4回か・・・という感じがします。
委員	委員	結局、何回やっても同じだから、この際それは抜きにして、ある物をどう活かしていくか、それを民間の活力に任せよう。
委員	委員	いや、だから今の状態だと民間は困ると思うのですが何も情報がないと。今のまま、こうあったらいいという話だけで、情報収集もしないまま行けますか。
委員	委員	民間に全面的に任すとして、民間がどこにメリットを持つという事がありますから、出来る事と出来ない事をはっきりさせる必要はあると思います。私も、今はっきりとわからないですから。 各施設は市の財産ですから、ここはこうあって欲しいとかは考えていけないと思います。
委員	委員	民間は黒字前提で考えるから、何人誘客が必要とかは自分達で考えてくるのではないですか。
委員	委員	いや、そうはいかないと思いますよ。見える形見えない形で、そこにお金を投資する訳ですから、そうすると、その結果メリット＝利益はどこにあるのだろうと、考えないといけないですよ。情報が無ければ、それがシュミレーション出来ないですよ。
委員	委員	まだ公募するって決めてないですよ。
委員	委員	公募するっていうのは決まってないのですか。 それをここで、提案をお願いします。
事務局	事務局	ただ、現実的にこれからさぬき市が大串へ何億も投資する事は、不可能だと思います。今まで散々投資してきて、投資しただけになっています。建物は出来ているけど建てただけになっています。ワインも平成18年度から赤字が始まって平成23年度までに1億近い赤字でした。だから今回SA公社に経営を委ねた訳です。だからワインについては経営改善していきます。今まで赤字だから、このまま赤字が続くのではなくて今までよりは改善していくはずですよ。
委員	委員	それならば経営改善の方向性が見えれば、全体構想の中に入れられますよね。あともう1つ、委員会の落とし所なのですが、どういう形で提出するようになっているのでしょうか。
事務局	事務局	さぬき市の目標、ビジョンが見えないという意見を読みましたが、さぬき市も手探り状態の為、各委員の意見を聞いた中で集約できないかと、これだという今示せるものがないのですが・・・。
委員	委員	落とし所も、委員会で決めるということ。

事務局	そうですね。
委員	じゃあ今日それを決めないといけませんよね。
事務局	さぬき市が何億も投資できないという前提で議論を始めていただきたいと思います。
委員	そしたら投資はどれくらいできるのですか。
事務局	さぬき市がですか。
委員	そうです。完全に0なのか、いくらまでなら出来るとか。
事務局	ここで金額は言えませんが。
	副委員長が言われたような一般公募して、今、大串半島にある施設を有効利用して、こういうものを作りたいという提案が出るような、たたき台を作成していただきたいと思います。
委員	皆さんの所にも色々な情報がいつていると思うのですが、私の所にも大串の事で、色々な相談に来る人がいます。その中で、皆さん話すのは、長期で関わりたいという事と、もう1つは投資するなら1億2億出してもいいと言う人が多いです。それくらい自信はあると、その代り全部任せてくれという話です。だから、先ほどの事は、突っ込んで聞きたいです。面白いと思っている民間は結構あるんじゃないかと、でも制限等あることがよく分からない事があって、それは民間が調査能力があっても、国立公園とか分からないことがあるので。
	あと投資して、どこまで投資効果が望めるのかっていう事を考える時に市役所が、どういう役割を担うのか。全く担わないのか。そこに関しては明確にして欲しいって事です。
委員	提案型がいいのではないのでしょうか。今まで行政がしてダメだったのだから下手に行政がするよりは企業の方が目的を持って提案してくるのでいいのではないのでしょうか。
委員	だけど公募期間は短いんですよね。その期間の中で今のままの情報じゃ、応募出来ないですよね。松木委員なら今の状態で応募できますか。
委員	そうですね。事前の調査はないと何をするにしても、どうなるか読めないのはリスクを背負ってまでは出来ないと思います。
委員	説明会までにはしたいので、揃えといてもらわないと間に合わないと思います。みんなしんどい状況なので、そこは市の方から出してもらわないと、委員会で勝手に決めてくださいじゃいけないと思います。市の方が責任持つ範囲はどこですか、というのをある程度出してもらったうえじゃないと難しいかなと思います。
委員	県が思っていた事例として今後どうしたらいいか、何かいい提案があったら決めましょうという提案が出ました。けど、提案には入っていきませんが、しばらくたって元々違うじゃないかとなって、それを止めさ

	<p>せるんですね。それを県が再度買い直すという話になるんですね。こういうことになってはいけないから、任せるなら任せて、むしろ企業側から提案がでてくるような条件設定がないと聞きようがないじゃないですか。みんな思い思いに書いたら個別のことしか書けなかった。全体をどういう風にするかという議論にすると、もう少し現状をきっちり見てなかったら作れないじゃないでしょうか。資源の話はどんどんほしいなというところですよ。</p>
委員	<p>去年、県でも同じことがあったんですよ。案件が決定したんですけど、いくぞってときに、実際に今頓挫しています。県でもそういうことって結構あるんですよ。だからそういう風になりかねないと思うんです。</p>
委員	<p>民間の人たちの力をフルに出してもらおうと思ったら、民間にとっても面倒があるじゃないですかという部分が見えてこない、個別の事業については民間の人のこういう方法にしたらいいいというのはあると思う。この部分だけなら最善策としてありますけど、全体としてはなかなか至難の業です。条件が見えてこないんですよ。それが困った問題だと思えます。</p>
委員	<p>委員会なんかでも県でも国民でも同じなんです。とにかくこの案件が横断的な取り組みをしないとだめだという場合は、各担当が全員が並ぶんですよ。その時に委員が資料出していただけるのかとやり取りしながらするんですよ。</p>
委員	<p>大串の活性化だったら、管理も統括して指導する、児童館も一括して申し込みできるようなシステムをつくっていかなければいけないと思います。</p>
委員	<p>それをするためには、各施設がいろんな役割を持っていますから、それを全部管理するのに部署があってもそこにどういう人材が必要なのか変わってきます。ここまできるとプロがないと難しいと思います。</p>
委員	<p>それは制限したらいいでしょう。</p>
委員	<p>あなたのおっしゃるプロって、どういう人の事ですか。</p>
委員	<p>それは方向性によって変わってくると思います。例えば、観光振興でやっていくとなれば、そういったものをプロデュースする人がいるでしょうし、施設の方でもう一回活用したいという話であれば、新管理面での物件管理の方のハード面とソフト面の両方の人が必要だと思います。それからサービスですね。今はマニュアルもないし、いっぱいいっぱいの中でやっているのですね。サービスに関する専門家が必要だと思います。中にいる人間は何が必要かということが分かっているプロがいると思います。ここまで考える必要がないと言われればそれまでなんですけど、机上の空論にたくないののでうるさく言ってますけど。あともう</p>

	<p>ひとつは公募をしたとして手を挙げてくるところがあったとしても、今まで潰れてきているものがいっぱいあるんですよ。業者の公共施設に関してはいっぱいあるんですよ。</p>
委員	<p>上手くいくかいかないかは別として、公募として進めた方がいいんじゃないですか。データはデータだけど、やってみないとわからない。</p>
委員	<p>公募が必要なのであれば、市側の役割と機能それから制限に関するものは必要になると思います。</p>
委員	<p>ここで、私案を見てもらいたいのですけど、大串半島の公共施設と成り立ちに関しての基本的な考え方。大串の役割内に顕在する公共施設など以下施設と略するは、昭和57年設置の公園から平成15年のシーサイドコリドール設置に至るまで憩いの森計画に沿って着々と整備されてきたようである。辺鄙郷愁の過疎地大串半島に少なくとも22億5100万円もの莫大な補助金、税金を投入してきた。平成14年4月1日の5町津田町、大川町、志度町、寒川町、長尾町合併後、さぬき市民等の注視となったテーマは、大串半島の施設に典型的な縦割り行政、採算部の管制事業の疑問符である。そこで本願に対する基本的な主な考え方として、ぜひこの疑問符にこたえるために、大串施設に関しては施設関係の舎監を透過する市長直轄の組織をつくり、リーダーに広い権限を与えること。施設の廃棄はできない前提であるようである。ならば、保守維持、改善費用の負担をさぬき市の負担とすること。信頼できる機関（民間含む）に幅広く施設の企画運営等を一括委託、さぬき市は強力な支援を行うが、運営には口を出さないようにすること。委託公募は県内外を対象に長期間行い、審査委員会さぬき市を含む日程慎重に審査すること。受託機関の運営状況を監査する常設委員会にさぬき市民を含むこと。これが僕の基本的な考え方。大体みなさんが懸念していることが入っていると思います。2点目は大串半島公共施設のあり方に関する工具の方策。施設の耐久診断と今後5年間の保守維持、改善費用を施設ごと、年度ごとに見積もり、情報公開し、公募資料として提供すること。3番目は大串半島公共施設の在り方に関する具体的な視察。グリーンツーリズムなど地域活性化が成功している事例は全国的にみると少なくないが、成功している要因は住民が積極的に楽しみ、ノリの良い地域です。現状の大串半島は限界集落地。成功事例の表面だけまねて成功した事例は知るところ1件も有りません。大串半島の内外環境を分析したうえで、大串半島独自の秘策を打ち出すことが必要である。重要なキーワードは ニュービジネスの大串提供性。 実のなる四季の花や樹木、鳥等の小動物や人が憩える森。 ラジオ、芝居、映画口ケ地、話題性と大串の PR。 集客性である。これらにより低コストかつ老若男女、市</p>

委員	<p>内外からの集客力が理想であるとされます。</p> <p>そうなってくると市の職員の立ち位置、市の役割とか、そういったものがこの中に入らなくてもいいのか。民間の方がそのことに関してはちゃんとやりますよ、市ではだめですよ、と引導を渡したようになってしまいます。それでいいんでしょうか。市の立ち位置としてここは譲れないとか、役割に関しては譲れないことはないのでしょうか。</p>
事務局	<p>市の立ち位置としてツインパルも公募していますが、修理に関する費用は見ることにしています。今回の4つの施設に関しても少なくとも是大家ですから、大家としての修理は必要だと思います。</p>
委員	<p>もう1つですけど、市としての全体の都市計画ビジョンがありますよね。それからあと、これから先のいろんな計画、各課、市全体としての大串半島の一体の位置づけ。その中の政策の方針があると思いますけど、その辺りで内容に関して、市の方から関与しているということはないのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的にないという方向かと思います。さぬき市のキャッチフレーズ「親自然・真健康・新創造」それは未だに生きております。それと、総合計画の中で大串半島をどうするかは書いておりません。平成24年度から26年度の総合計画を今作っておりますが、その中でも観光開発の部分は明記されておりますが、具体的に大串半島をどうしろというのには実際は2~3行しか書いていない。それが現状です。さぬき市の総合計画はさぬき市全体の教育から健康福祉、観光も含めて農業振興、そういったものも含めて大雑把な書類になっています。</p>
委員	<p>全体地域にはレクリエーションゾーンで行くという位置づけですが、自由にやるんだという方からすると、外れる企画が出てくるかもしれません。それでも構わないのですか。</p>
事務局	<p>ここで提言いただいたことは、市長は素直に耳を傾けると私は信じています。</p>
事務局	<p>その後なのですが、公募をした場合に、会社の希望を持たれて企画書を提出していただいた場合、その時はまた今後の審査委員会を設けます。その中で議員さんの意見を出していただいて、今回提案頂いた事を参考にしていきますので、A社の企画が丸々通るという訳ではないです。</p>
委員	<p>ただ、それは事前に制限等は目標とかを立てていた方がいいですね。</p>
事務局	<p>それをするとまた行政が関与するという事になりますよね。今まで、行政がやってきて、ワイナリーがしたい、物産館がしたい、海釣り公園がしたいとバラバラな欲張りな施設を作った為に、目標を見失って対象がぼやけて、今の状況になったんだと思います。だから、民間がある程度ターゲットを絞ってくると思うので、それを邪魔する気はありません。</p>

		ただ、国の規制とかについては出来る限り協力はして行きたいと思 います。
委 員	員	私の所に相談しに来た人が、同じ事を言うんですが、市役所はむしが いいと言いました。大家だから、お金出すから何やってもいいじゃなく て、もっと市の在り方の中で大串を、どう位置付けて一緒に考えていく ような体制にならないと話が進まないと思うのですが。今話を聞いて いると、完全に丸投げで、市は大家で管理費はだすから、後は好きにや ってください。みたいに聞こえるんですよ。
委 員	員	それでいいんじゃないですか。
委 員	員	いいんですか。
委 員	員	建物は市が管理するのが当然で、運営については民間にまかすのでい いんじゃないですか。
委 員	員	他の公共施設もありますからね。
委 員	員	他の施設は関係ないんじゃないですか。
委 員	員	いや、関係あると思いますよ。大串がそれでやって OK だったら、じ ゃ、ここも、ここもって事になった姿があちこちにあるので。
委 員	員	でも、この委員会は大串の活性化を考える委員会ですよな。
委 員	員	そうなんですけど、市全体の在り方の中で考えた時に、だからレベル が必要だっていってるのですけど。じゃ、大串はこれでいいと、でも、 私は市の立ち位置は明確にして欲しいと思います。
事 務 局	局	ワインは止めた方がいいという意見もありますが、市長はワインに対 する思いはかなりあります。だから止めたら済むという話も、赤字が出 だした頃にはあったはずですよ。ですが、四国で唯一のワイン工場である し、ぜひ「さぬきワイン」という暖簾を残したいという思いがあって。
委 員	員	だからワイン工場に関しても皆さん同じ意見だと思うんですが、種類 を絞ってと。
事 務 局	局	それが SA 会社であるうと、次の会社だろうと、同じようにしたいと いう思いがあるだけです。
委 員	員	でも、ちゃんとしようとする投資が必要です。スパークリングでい くとか、品種を絞っていくとかデザインを変えていくとか、はあるし。
委 員	員	それはワイナリーが考えるんじゃないですか。
委 員	員	ワイナリーは SA 会社が運営していくことで決定なのですか。切離し て考えるんですか。
事 務 局	局	SA がするのなら、また相談はしますけど。
委 員	員	だから、それもありませんよな。その事も合意出来てなかったです よね。
事 務 局	局	今のところは SA 会社が管理していますし、酒類販売等の免許を取り

委員	直していますので。 ただ、接客態度とかいろいろ管理指導する部分は統括しなければいけないと思います。
委員	あとは、市の職員のプロジェクトチームを各課横断的に作って、丸投げでなく、役割をはっきりさせてやっていくのがいいと思います。
委員	役所ですから、窓口をきちっとして、動いてくれれば別にそれは、いいと思いますけどね。商工観光課が窓口で、連絡は庁内組織でいいと思います。ハードルは高いと思いますど、それはこなしてもらわないと、良い解決にはならないと思います。
委員	職員には頑張っって欲しい。民間っていったって、民間は赤字が出ると、あっけなく撤退しますからね。
委員	民間の持てる能力を引き出して、どう活かすことが大切なんで、まかす事じゃなくて、より良くするために、市もプラスになるし、民間も管理を受けて良かったとなるなら素晴らしい事と思います。そういう関係を作っていくことが大事だと思います。WIN・WIN の関係の仕組みを作ることが市役所としてはポイントになるのではないのでしょうか。
委員	今回の話はトップダウンだけで決まる話でなくて、調査の話も色々でしたが、ボトムアップの部分で、皆さんの意見を聞いて、それを活かされていく仕組みが無ければ、地域は良くなっていきませんよね。住んでいる人にもプラスになるし、訪れる人にもプラスになるような事を今からの観光は目指すべきだと思います。
委員	地域が良ければ、宣伝しなくても人はくるんです。国が観光事業でもやっつ、そういう風になりだした。今は住んでよし、訪れてよし国造りというのが、観光庁のキャッチフレーズなんです。住んでいる人が良いと思うところで無いと、いくら宣伝しても人は来ないです。そういう所にしないと企業も進出して仕事をしたいと思わないのではないですか。そういう風な仕組み作りを考えて行きたいと思います。
委員	私も色々やってきましたが、これをしたら大丈夫みたいなものは無いです。そんな簡単じゃないです。だからワイナリーにしても、テアトロンにしても、すぐいい案はでないと思いますが、1つ1つ解決する方法はあるんじゃないかと思うんです。あの施設がない所の人からすると、あんな素晴らしい施設はないですよ。
委員	もし市民主導で提案があったとしても、行政の支援体制は必要ですし、企業が入ってきたら、持続しない可能性がありますよね。うまくいかないと、すぐ止めてしまうパターンが結構あります。そこは行政が持続的に地域の為に守っていかないといけないと思うので、きちんとチェックし、長期的に安定的に出来るように市の中での位置づけを示すという事

		も考えなければいけないのではないのでしょうか。
委 員	員	公募の方で議論するなら、公募するのに、どういう条件付けるのかを話した方が早いのでは。
委 員	員	そういう方向でいかないと、私が言う長期間とはそういう意味なんです。やりとりして、協同していき良い公募案を作る為の作業。これがなかったらダメだと思います。
委 委 員 員	員 員	副委員長の中で、公募の方法論に関して明確なものはあるんですか。 ないです。そこは規定しないで、民間がやり方も含めてどういう風に使っていくか。
委 委 員 員	員 員	PFI とかでしたら提出してもらう資料も増えますよね。 あまり原則論ばかり言っていたら、先に進まないの、公募するのに一番何が大事かといったら、金もない、人もない、力もない、それでどうするのと、本当は何もやらないのが一番いいんです。それを乗り越えるには、民間の活力にお任せして、出来る限りさぬき市、さぬき市民が力を貸して一緒にやっていくしかないと思います。
委 事 務 局	員 局	今、温泉は休止していますよね。あれを復活さすという構想はあるんですか。公募する時には温泉とワインは切り離せないと思うのですが。 温泉部分とグリーンヒル部分、2棟あります。昔に建てた温泉部分は現実的に修復不可能な状態です。グリーンヒル大串の宿泊施設、こちらはなんらかの手を加える事によって個室とか別の使い方は可能と思います。
委 事 務 局	員 局	あとアクセスはどうですかね。 アクセスをどう考えるかと思います。不便さを求めて来る人達をターゲットにするものか・・・。
委 事 務 局	員 局	対象を明確にするって事ですよね。ただ、そこにも予算が必要ですよ ね。 今ある県道を、どうにかするとかは無理な話です。市道が少し狭い所を直すとかは、考える余地はあると思いますが。アクセスが悪いから、県道改修とかは無理です。
委 員	員	さぬき市は財政が少し良くなったと言っても、まだまだ黄色信号な訳で、やれる事の限界があると思うんですが。そういう風に考えると、最終的に公募して応募してもらっても、選択されないとかやろうとした企画が出来なかつたりだとかするのはないですか。そういう可能性があるから、しつこく言っているんです。
委 委 員 員	員 員	松木委員、何か意見ありませんか。 市として、大串半島をどうしたいのか、いまいよく分からないのが現状です。実際、私のように子供がいる家族が、一緒に遊びに行くよう

		<p>な所でも無いと思います。ただ、釣りする人には、大串一帯は良いポイントになっているとは思いますが。私も海釣り公園には何回か行った事がありますが、夜に一人では、行けないですね。そういう所ですね。暗くて怖いですね。検討委員会で、どこまで検討したらいいのかが良く分からないです。</p>
委 員		<p>今日、朝から大串へ行っていきたのですが、最高だったのが鴨部川の所からし菜の黄色い花が一带に咲いていました。車に乗っていた人が、わざわざ降りて写真を撮っていたんですね。そういった景観って大事だと思うんです。住んでいたら当たり前なのですが、勝手に咲いているものだし、でも、良いものをアピール事が大事だと思います。</p>
委 員		<p>インタビューした時にでてきたんですが、確かに高齢化してきていますが、せっかくの施設だから残したいし、地域のイベントとかもあるんですが、そういうのも、あそこに集約して仕掛けていければ、もう少し近隣の人に愛されるんじゃないかと思います。テアトロンなんかも、1回で大勢呼べるんですが、一過性イベントじゃなくて、地域の人たちが常時来てもらえる事をやるとか、そういう提案は地元からもあるので。</p>
		<p>【休憩】</p>
委 員		<p>それでは再開します。本日は現状の課題と今後の在り方についてという事で、皆さんに積極的な意見を頂いた訳ですが、あと20分位で委員長が到着するという事なので、再度まとめ的な感じで皆さんから一言頂いて、それで、今日の会合を終了したいと思います。次回のテーマは事務局で何かありますか。</p>
事 務 局		<p>今日の話聞いた上で、回数を重ねれば、もっと素晴らしいものが出て来るとは思いますが、今の皆さんの提案をまとめる事も可能ではないかと思えます。</p>
委 員		<p>事例なんかも、もっと出した方がいいんですかね。</p>
		<p>その方がリアルにイメージ出来るかもしれないです。</p>
委 員		<p>もしよければ、事例の資料も届けますよ。あとは担当の人がどう判断するのかを考えてもらえれば。</p>
		<p>人間の力によって地域は変わっていくと思いますから、さぬき市以外の人でも香川県出身の人で力を借りれるなら、もっと頼った方がいいのではないかと思います。</p>
委 員		<p>ストーリー性が欲しいですね。</p>
委 員		<p>ストーリー性はぜひ欲しいですね。ワインを買っても、物語がないと、その向こうが見えこないですね。</p>
委 員		<p>今やってる人達もインタビューしたらやる気が無いわけではないので</p>

委員	すよね。今すぐにでも出来る事はあると思うんです。
委員	笑顔はお金かからないですよ。
委員	成功している所は、そうでしょ。過疎の町だから出来るっていう。
委員	人数少なくても、出来る事はたくさんあって、過疎だからって最初からあきらめる必要はないと思います。
委員	役所と企業、お互いが協力して、作ってよかったなと思う事をしないともったいないですよ。物産館も、お土産品を並べているだけではダメですよ。魅力ある物を探してこないといけないし、そういったものを地域で作らないとダメですよね。アイデアを出せば、出来る事はいっぱいあると思います。
委員	さぬき市の春日温泉なのですが、あそこは地元の人が作った野菜なんかを、わざわざ持ち込んで食材として使ってくださいというような事が日常的に行われているんですよ。
委員	あそこは地元で愛されているんです。だから集客も出来ているんですよ。完全に地元密着で上手くいっているケースだと思います。
委員	春日は立地場所に恵まれていますよね。大串とは少し違いますけどね。歩いて行けないし、自転車でもしんどい、だから何かマグネットのような人を引っ張る仕掛けが必要ですね。やはりさぬき市民を巻き込んだイベントが必要かなと思います。ただ待っていたんじゃ出来ないんで、仕掛けを作ろうというのがテーマだと思います。
委員	今言ったような事は、地元の人が入り込んで出来ますよね。
委員	地元の人っていうのがどこまでを地元というのかが問題で。大串に住んでいる人を地元っていうのか、小田地区までなのか、志度地域まで地元というのか。
事務局	先端ですし、半島の左右で鴨庄と小田地区に分かれているので、地元意識もないのかも。
委員	今回アンケートして分かったのですが、38人の中に大串半島に行った事ない人が2人いたんですよ。やはり志度以外の人で大串半島が観光地としての認識が、まだまだ薄いのかなと思います。
委員	ライオンズクラブとかも色々活動はしてきているんですが、それぞれが勝手にやっている感じで広がりが無いんですよ。
委員	一生懸命やっている人も居るのに、つながりが無い。だからこれをコーディネートする人が必要だと思います。これが繋がるだけでも大分違うと思います。
委員	それは観光課ではないですか。
事務局	やれる範囲でやっていきたいと思います。
	【委員長到着】

村尾副委員長が委員長に経過報告し、次回までに各委員の資料をまとめておく事及び制限等についての調査を事務局でしておく事で散会。

次回日程は5月16日 13:30から開催する。

「以上」